

株式会社 MATSUI企画設計

DX宣言書

2025年7月18日
株式会社 MATSUI企画設計
代表取締役 松井 千代仁

□ 経営理念

未来を創造し関わる全ての人の縁を大切にし社会を豊かにする
(未来のために 誰かのために 社会のために)

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用し業務の標準化を進めることで、働きやすい職場環境を実現します
- ◆ 事業拡大に向けた取り組みを推進し、持続可能な地域づくりを目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2026年1月)

戦略 「現状分析と課題の洗い出しを通じたデジタル基盤の整備」

施策 ・ 各部門の業務プロセスを可視化し、ボトルネックを特定、改善策を検討

【具体例】

- 工事部門:バックアップ体制を強化するため、既存ITツールをクラウド型に移行
- 飲食部門:売上・受発注管理を最適化するため、レジ機能や在庫管理をデジタル化
- 総務部 :業務スピードを向上するため、勤怠管理・給与計算を自動連携
- ・ 業務のデジタル化に伴い、新たな業務プロセスに対応するため、システムの操作マニュアルや運用フロー等を整備
- ・ DX推進への理解を深めるため、デジタル技術の活用に向けた勉強会を開催

➤ フェーズ2(2026年2月 ～ 2027年1月)

戦略 「データ活用による経営判断の迅速化と、新たな価値創出に向けた下準備」

施策 ・ フェーズ1で特定した改善策に、優先順位を付けたうえでDX実行計画を策定、実行

- ・ データ分析ツールを活用し、部門別のデータを可視化・分析
- ・ 事業領域の拡大に向けた取り組みを検討
 - 社会課題に対応する新サービスのプロトタイプを開発し、実現可能性を検証
 - 将来のサービス展開を見据えた人材の採用・育成方針を検討

➤ フェーズ3(2027年2月 ～ 2028年8月)

戦略 「事業領域の拡大に向けた取り組み」

施策 ・ お客さまの豊かな暮らしを実現するため、IoT技術等を活用した新しい家づくりを検討

- ・ 空き家を巡る地域課題の解決に向けた具体案を検討(例:空き家情報を集約し、購入希望者やリノベーション業者とのマッチングを支援するオンラインプラットフォームを構築)
- ・ 上越地域のにぎわい創出に貢献するため、上越地域を訪れる方々に向けて、地域の魅力を発見・共有できる場の創出に向けた具体策を検討(例:地元イベントや飲食店情報を集約したアプリの開発)

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 食品ロスの削減 : 2024年度比 5%以上(～2027年1月)
- ・ 勤怠管理・給与計算の自動連携 : 完了(～2027年1月)
- ・ 新サービスの考案件数 : 月1件以上(2026年2月～)